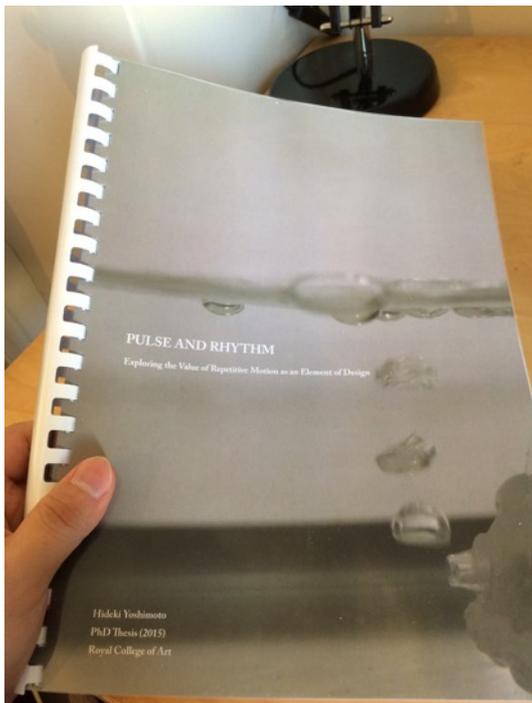


イギリス、ロンドンのRoyal College of Art (RCA、王立芸術大学院)、Innovation Design Engineering 学科の博士課程に所属している、吉本英樹です。現在の研究と学外活動の状況などをレポートします。

研究の進捗

長かった博士課程も、あと二週間ほどで終わり（のはず）です。約一ヶ月前に博士論文を提出しました。タイトルは、「PULSE & RHYTHM - Exploring the Value of Repetitive Motion as an Element of Design」。トクトク、フワフワ、ユラユラする反復運動 — パルス — が、デザインの要素としてどのように機能するかということについて、9個の自分の作品と、40以上の実験を通して、提案しています。反復運動というのは非常にシンプルな動きですが、それゆえに、心拍や呼吸をはじめ生命や自然のいろいろな現象に通じる想像を掻き立て、デザインの情緒的な側面に大きく貢献する要素となる、というのが提案の要旨です。二週間後が最終試問です。デザインスクールなので、最後の試験は、エキシビションも兼ねます。大学のギャラリーを一つ借りきって、今までの作品を全て展示し、その作品の内容も試験の重要な要素としてみなされます。

おそらくこれが最後の報告書となると思います。船井財団にお世話になって、ようやくここまで来れたことを本当に感謝しています。いろいろと苦しい過程でしたが、5年前から比べると、知識も思考方法自体も大きく成長することができました。これから最後の二週間、ラストスパートを頑張って、錦を飾りたいと思います！



学外の活動

PhDの修了と同時に、ロンドンにて、tangent design and invention ltdを正式にスタートします。すでに親会社を通じて発売を開始しているINAHOIは、3月にドバイのフェアに参加、4月からパリのギャラリーと提携、現在に至るまでアブダビ、フランス、中国、台湾、イギリスなどから引き合いを頂いており、若いスタジオの最初の製品からこのように世界展開ができるのも、ロンドンという地で始めたからだろうなと思っています。この夏からはtangentのビジネス一本に集中して、こちらをガンガン成長させられるように頑張りたいと思っています。